

NEBULA

by Anker



User Manual

Nebula Capsule 3 Laser

目次

| | |
|------------------------------|-----|
| <u>安全にご使用いただくために</u> | 247 |
| <u>パッケージ内容</u> | 251 |
| <u>各部分の名称</u> | 252 |
| <u>1. プロジェクター</u> | 252 |
| <u>2. リモコン</u> | 256 |
| <u>3. LED インジケーター</u> | 257 |
| <u>はじめに</u> | 258 |
| <u>1. リモコンのセットアップ</u> | 258 |
| <u>2. プロジェクターの設置</u> | 258 |
| <u>3. プロジェクターの充電</u> | 260 |
| <u>4. 電源のオン/オフ</u> | 260 |
| <u>5. オートフォーカスと自動台形補正</u> | 261 |
| <u>6. セットアップ</u> | 261 |
| <u>Nebula Connect アプリ</u> | 262 |
| <u>設定</u> | 262 |
| <u>1. Wi-Fi ネットワーク</u> | 262 |
| <u>2. プロジェクター</u> | 263 |
| <u>3. アプリ</u> | 265 |
| <u>4. デバイス設定</u> | 266 |
| <u>5. その他</u> | 267 |
| <u>製品の使用方法</u> | 267 |
| <u>1. アプリの選択</u> | 267 |
| <u>2. 音声アシスタント</u> | 267 |
| <u>3. ワイヤレスキャスト</u> | 268 |
| <u>4. HDMI 再生機器から再生する</u> | 269 |
| <u>5. USB ドライブから再生する</u> | 270 |
| <u>6. 外部オーディオ機器で再生する</u> | 270 |
| <u>7. Bluetooth スピーカーモード</u> | 271 |
| <u>ファームウェアの更新</u> | 272 |
| <u>製品の仕様</u> | 272 |
| <u>トラブルシューティング</u> | 274 |
| <u>注意</u> | 276 |
| <u>商標</u> | 276 |
| <u>保証</u> | 277 |

安全にご使用いただくために

本製品を使用する前に、本取扱説明書を全てお読みください。本取扱説明書で説明されていない変更や設定を行わないでください。本取扱説明書の指示に従わなかったことが原因で起こった怪我やデータの損失、破損は保証の対象外となります。

設置について

- 火災や感電の危険を避けるため、本製品を雨や湿気にさらさないでください。花瓶など、液体の入ったものを本製品の上に置かないでください。
- 本製品をテーブルクロスやカーペットなどの上で使用しないでください。火災が発生する危険があります。
- 本製品をほこりや汚れが付きやすい場所や、強い磁場を発生する機器の近くに置かないでください。
- 過熱を防ぐため、本製品の換気を妨げたり換気口をふさいだりしないでください。
- 本製品を密閉された場所に置かないでください。換気のため、本製品の周りには常に十分なスペースを確保してください。
- 本製品の上に重いものや鋭利なものを置かないでください。

使用環境について

- 本製品は5°C～25°Cの環境で使用することを推奨します。
- 本製品は通気性の良い環境でご使用ください。
- 極端に高温または低温の環境で本製品を使用しないでください。強い日差しの下や水気の多い場所で本製品を使用しないでください。

使用時の注意事項

- 怪我や物的損害を避けるために、本取扱説明書に記載された以外の方法で本製品を使用しないでください。
- 聴覚の損傷を避けるために、大音量で長時間聴かないでください。音量は適切なレベルに設定してください。

- 本製品を長時間使用すると、表面が熱くなることがあります。表面が熱くなった場合には電源をオフにし、プラグを抜いてください。表面の温度が下がってから、ご使用を再開してください。
- 本製品のお取り扱いには常に注意を払い、レンズに触れないでください。
- 本製品を、大人による監視なしにお子様だけで使用することがないようにしてください。
- 内部の部品が損傷する恐れがあるため、激しい振動を避けてください。
- 必ず同梱の AC アダプタのみを使用してください。それ以外のアダプタを使用したことによる故障や不具合は、保証の対象外となる場合があります。
- 本製品の使用者は、本製品が使用される国・地域の法令を遵守し、職業倫理を守り、安全義務に留意するものとし、本製品の違法な目的での使用を固く禁じられています。当社は、いかなる場合においても、違反者の法的責任について一切の責任を負いません。

充電について

- 同梱の AC アダプタは、屋内でのみご使用ください。
- AC アダプタは本製品の近くに設置し、手の届きやすい状態にしてください。
- 本製品の充電には、USB 2.0以上のUSBケーブルをご使用ください。
- 本製品の充電は、周辺温度が5°C～25°Cの通気性の良い環境で行ってください。
- 本製品は定期的に充電してください。内蔵バッテリーが完全に放電した状態で保管しないでください。

リモコンの電池について

- リモコンに付属している乾電池(単4電池2本)を誤って飲み込まないように、リモコンは小さいお子様の手が届かない場所においてください。万が一飲み込んでしまった場合は、直ちに医師に相談してください。
- 使い切った電池を、長期間本体に入れたままにしないでください。
- リモコンに、誤ったタイプのバッテリーを挿入しないでください。

故障の原因となることがあります。

- 乾電池を交換する際は、プラスとマイナスの向きを正しくセットしてください。向きを間違えると思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 乾電池を落下させたり、傷つけたりして強い衝撃を与えないでください。電池が漏液、発熱、破裂する恐れがあります。
- 乾電池を火中へ投入したり、充電したりしないでください。破裂する恐れがあります。
- 使用済み乾電池は、各自治体の指定の方法で処分してください。

警告

- お客様ご自身で内蔵バッテリーの交換はしないでください。誤った種類のバッテリーと交換すると安全装置が作動しなくなり、思わぬ事故につながる可能性があります。
- 本製品および内蔵バッテリーを火中や高温のオープンに投入したり、機械的に押し潰したりしないでください。爆発する恐れがあります。
- 本製品や内蔵バッテリーを非常に高温の環境や極端に気圧の低い環境に放置すると、爆発または引火性の液体やガスが発生する恐れがあります。
- 感電防止のため、本製品を分解しないでください。

お手入れについて

- 柔らかく、糸くずの出ない布を使用してください。液体、気体、可燃性の洗浄剤（スプレー、研磨剤、アルコールなど）を使用しないでください。
- レンズのコーティング材の損傷を防ぐため、液体洗浄剤でレンズを洗浄しないでください。
- 表面を優しく拭いてください。表面に傷を付けないように注意してください。
- レンズのクリーニングには、レンズクリーニングペーパーを使用してください。

修理について

- 本製品をご自身で修理しないでください。
- 修理が不適切な場合、怪我をしたり、本製品が損傷したりする恐れがあります。
- 本製品に不具合が生じた場合は、ご自身もしくは第三者による修理を行わず、カスタマーサポートまでお問い合わせください。

レーザーに関する注意事項

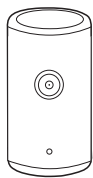
- 動作時や投影中は本体のレンズを覗き込まないでください。本体が発するレーザーは、皮膚や角膜の火傷の原因となる恐れがあります。
- 修理を行う者は、本製品のレーザーの危険性をよく理解し、安全に留意して修理を行う必要があります。
- 本製品に不具合が生じた場合は、ご自身もしくは第三者による修理を行わず、カスタマーサポートまでお問い合わせください。
- 本製品の筐体を開けないでください。
- 本製品の筐体が破損した場合は、使用を中止してください。
- 本製品にはレーザーが入っています。本体が発するレーザーは、皮膚や角膜の火傷の原因となる恐れがあります。

本機のレーザーに関して



- RG1 IEC 62471-5:2015
- 本製品のレーザーセンサーは、IEC 60825-1:2014 のクラス 1 および IEC 62471-5:2015 のリスクグループ 1 の規格を満たしています。

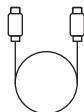
パッケージ内容



①



②



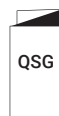
③



④



⑤



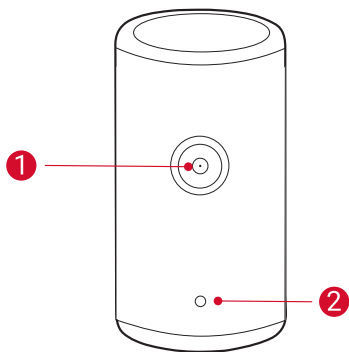
⑥

- ① Nebula Capsule 3 Laser
- ② AC アダプタ
- ③ 充電ケーブル
- ④ リモコン
- ⑤ 単 4 形乾電池 (x2)
- ⑥ クイックスタートガイド

各部分の名称

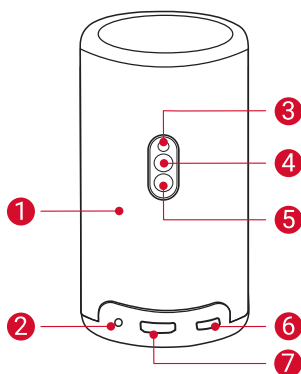
1. プロジェクター

正面図



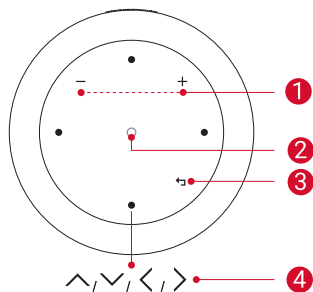
- ① レンズ
- ② オートフォーカスおよび自動台形補正用センサー

背面図



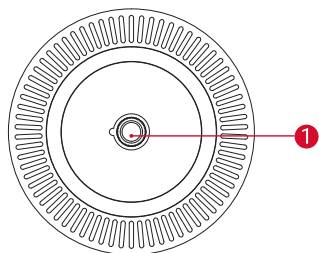
- ① スピーカー
- ② AUX 出力ソケット
 - AUX ケーブル (別売り) を使って、ヘッドホンやスピーカーなどの外部オーディオ出力機器を接続します。
- ③ 赤外線レシーバー
- ④ モード切り替えボタン
 - このボタンを押すと、Bluetooth スピーカーモードとプロジェクターモードが切り替わります。
- ⑤ 電源ボタン
 - 3 秒間長押しすると、電源のオン / オフ / スタンバイが切り替わります。
 - 1 回押しと、プロジェクターが起動します。プロジェクターモードの時に押しと、スタンバイモードに入ります。
- ⑥ USB-C ポート
 - 付属の AC アダプタと充電ケーブルで電源に接続します。
 - USB ドライブに接続します。
- ⑦ HDMI ポート
 - HDMI 出力経由で再生機器に接続します。

上面図



- ① 音量アップ/ダウンボタン
- ② 決定ボタン
- ③ 戻るボタン
- ④ ナビゲーションボタン

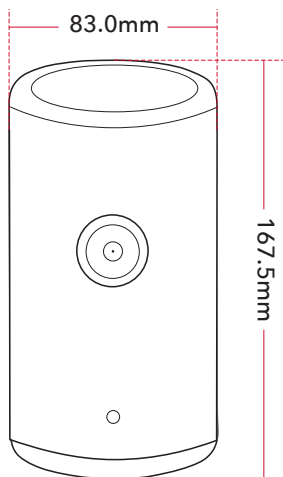
底面図



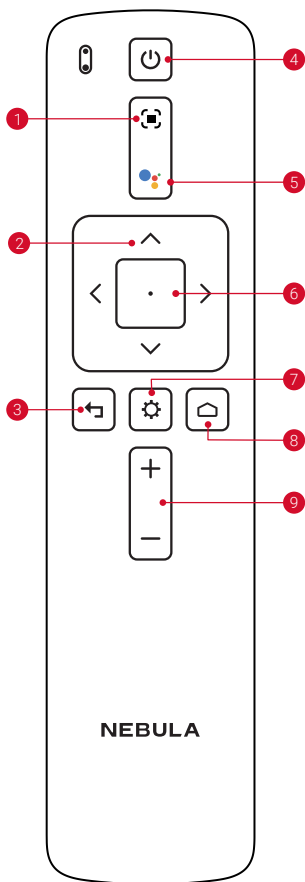
- ① 1/4" 三脚用ソケット

サイズ

167.5 (H) × 83.0 (D) mm



2. リモコン



- 1 オートフォーカス
- 2 ナビゲーションボタン
- 3 戻るボタン
- 4 電源のオン/オフ/スタンバイの切り替え
- 5 Google アシスタントの起動
- 6 決定 / 一時停止 / 再開
- 7 その他のオプションの表示
- 8 ホームボタン
- 9 音量アップ/ダウン

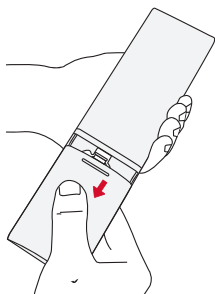
3. LED インジケーター

| ボタン | LED インジケーター | 状態 |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------|------------------------------------------------|
|  | 青色に点灯 | 電源がオン |
| | 消灯 | 電源がオフ |
| | オレンジ色に点灯 | スタンバイモード / 充電中 |
| | 緑色に点灯 | 満充電 |
| | 赤色で点滅 | バッテリー残量が低下 |
|  | 青色で点滅 | ペアリング準備完了 / ペアリング中 / 接続解除 (Bluetooth スピーカーモード) |
| | 青色に点灯 | Bluetooth で接続済み (Bluetooth スピーカーモード) |

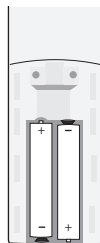
はじめに

1. リモコンのセットアップ

- ① 背面の電池カバーを開けます。
- ② 単4形乾電池2本をプラス (+) とマイナス (-) が合うように入れ、カバーを閉じます。
- ③ 初めて使用する場合は、画面の指示に従ってリモコンとプロジェクターをペアリングします。



①



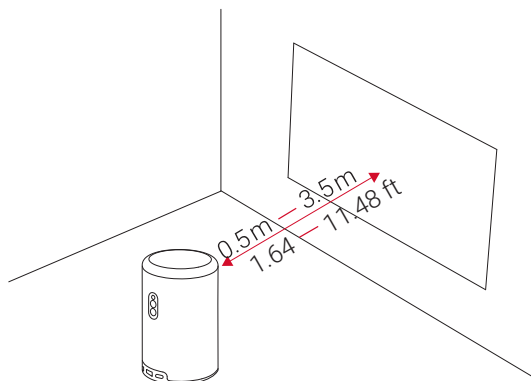
②



リモコンとプロジェクターの間の距離は 10 m を超えないようにしてください。

2. プロジェクターの設置

プロジェクターを、投影面の前の安定した平らな場所に置きます。より綺麗に投影するには、白く平らな壁もしくはスクリーンに投影してください。

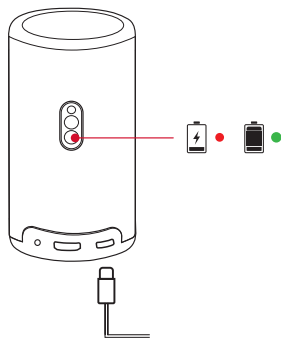


- 本製品を投影面に向けて傾ける必要はありません。オートフォーカスと自動台形補正によって、投影画像を自動で補正できます。
- 本製品を三脚（別売り）に取り付けることもできます。
- 投影画像の大きさは、本製品と投影面との距離で決まります。より鮮明な映像を映すには、プロジェクターを投影面から 1.06 ～ 3.18 m の距離に設置し、40 ～ 120 インチの画面サイズに調整します。

| スクリーンのサイズ | 投影距離 |
|-----------|--------|
| 40 インチ | 1.06 m |
| 50 インチ | 1.33 m |
| 60 インチ | 1.60 m |
| 70 インチ | 1.86 m |
| 80 インチ | 2.13 m |
| 90 インチ | 2.39 m |
| 100 インチ | 2.65 m |
| 110 インチ | 2.92 m |
| 120 インチ | 3.18 m |

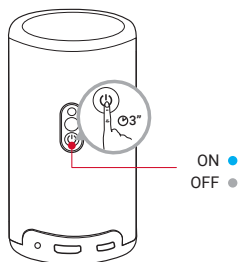
3. プロジェクターの充電

初めてご使用になる前に、付属の AC アダプタを使って満充電してください。



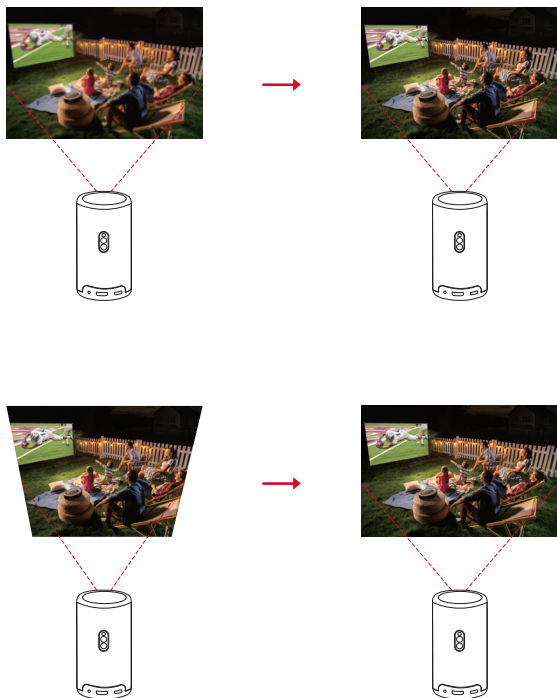
4. 電源のオン / オフ


プロジェクターの電源ボタンを 3 秒間押しすると、電源のオン / オフ / スタンバイが切り替わります。



- ・リモコンの電源ボタンを 3 秒間長押ししても、電源をオフにすることができます。
- ・電源がオンの状態でプロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押すと、スタンバイモードに切り替わります。
- ・HMDI モードでは、10 分間ボタンの操作がされないか、信号が検出されないと、本製品はスタンバイモードに切り替わります。
- ・スタンバイモードが 30 分間続くと、本製品の電源は自動的にオフになります。

5. オートフォーカスと自動台形補正



オートフォーカスと自動台形補正を起動させるには、プロジェクターを少し動かすか、リモコンの [] を押します。

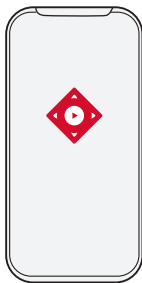
6. セットアップ

初めてお使いになる時は、画面の指示に従って以下のセットアップを行ってください。必要に応じて、プロジェクターの「設定」メニューで設定をご変更いただけます。

- リモコンとプロジェクターをペアリングする
- 言語を選択する
- Android スマートフォンでテレビを設定する (オプション)
- Wi-Fi に接続する
- Google アカウントでログインする

Nebula Connect アプリ

本製品を操作する上で、Nebula Connect アプリをスマートフォンにダウンロードいただくことをお勧めします。



- ① App Store (iOS 機器の場合) または Google Play (Android 機器の場合) から **Nebula Connect** アプリをダウンロードします。
- ② お使いのスマートフォンの Bluetooth をオンにします。
- ③ Nebula Connect アプリを開き、接続する機器として **[Capsule 3 Laser] > [XXXXXX]** を選択します。



画面の指示に従って、接続のセットアップを完了します。

設定

初めて本製品の電源をオンにした際は、以下のセットアップおよび必要に応じて設定の変更を行ってください。

1. Wi-Fi ネットワーク

本製品は、ワイヤレス (Wi-Fi) 接続を使用してインターネットに接続できます。

- ① ホーム画面で、[>[ネットワークとインターネット] を選択し、を押します。
- ② 画面の指示に従って、ネットワーク接続を完了させます。

2. プロジェクター



ホーム画面で、**[⚙] > [プロジェクター設定]** を選択し、**[⏏]** を押します。

| | |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [輝度] | 環境に応じて明るさを調整します。 |
| [画像] | <p>[画像モード]: プリセットされた画像モードから、環境や入力ソースに合わせてお好みのモードを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [標準]: 暖色と寒色のバランスをとって自然な色を保ちます。 • [ムービー]: 映画鑑賞に最適な色を再現します。 • [ゲーム]: ビデオゲームをプレイしやすいように輝度を高め、応答時間を短くします。 • [画像カスタム]: コントラスト、彩度、鮮明度、色温度、ガンマを手動で設定するか、それらの値をリセットします。 <p>[エキスパート設定]: 詳細設定をカスタマイズして、画質を向上させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [DNR]: 画面のデジタルノイズを低減します。 • [MPEG NR]: MPEG 圧縮ビデオを再生する時の画像ノイズを除去します。 • [DI フィルムモード]: 毎秒 24 フレームでエンコードされた高精細画像を作成します。 • [MEMC]: 元のフレームの間に追加のフレームを挿入して、スムーズな動きを実現します。 |
| [画像補正] | <p>[起動時の自動台形補正]: プロジェクターの電源を入れた時、自動で台形補正を行います。</p> <p>[動作後の自動台形補正]: プロジェクターを動かした時、自動で台形補正を行います。</p> <p>[手動台形補正]: 手動での台形補正を有効にします。自動台形補正がオフの時にのみ使用できます。</p> |

| | |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [画像補正] | <p>[手動台形補正の起動]: 台形補正を手動で実行します。</p> <p>[ズーム]: 投影画像を 50% から 100% の間でズームインまたはズームアウトします。</p> |
| [フォーカス設定] | <p>[起動時のオートフォーカス]: プロジェクターの電源がオンになった時にフォーカスを自動で調整します。</p> <p>[移動後のオートフォーカス]: プロジェクターを移動させた時に、フォーカスを自動で調整します。</p> <p>[手動フォーカス補正]: 手動によるフォーカスの補正を有効にします。</p> |
| [サウンド] | <p>[サウンドモード]: プリセットされたサウンドモードから、環境や入力ソースに合わせて好みのモードを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ミュージック]: 音楽を聴くために高音域を強調します。 • [ムービー]: 映画観賞用にサラウンドサウンドのリスニング体験を作り出します。 • [屋外]: 屋外でオーディオ / ビデオを再生するために音量を上げます。 • [カスタム]: バランス、低音域、高音域などのオーディオ設定を手動で定義します。 <p>[システムサウンド]: 操作音のオン / オフを切り替えます。</p> <p>[エキスパート設定]: 詳細設定をカスタマイズして、音質を向上させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [デジタル出力]: 出力オーディオ形式を選択します。 • [eARC]: 1 本の HDMI ケーブルを介して、TV がオーディオをそのソース機器に逆送信できるようにします。 • [ダウンミックスモード]: マルチチャンネルオーディオ信号をミックスダウンします。 • [自動音量調節]: 音量を自動的に制御します。 |

| | |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [Bluetooth スピーカーモード] | Bluetooth スピーカーモードを有効にします。 |
| [詳細設定] | <p>[プロジェクターモード]: プロジェクターの設置方法を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [自動]: プロジェクターが反転しているかどうかを検出し、投影方式を自動で切り替えます。 • [前面]: 本製品を投影面の前に置きます。 • [前面天井]: 本製品を投影面の前に天井から逆さまに吊り下げます。画像が 180°回転します。 • [背面]: 本製品を投影面の後ろに置きます。 • [背面天井]: 本製品を投影面の後ろに天井から逆さまに吊り下げます。画像が 180°回転し、左右が反転します。 |
| | [動作設定]: オートフォーカスと自動台形補正を起動するためのセンサー感度を調整します。 |
| | [台形補正]: 台形補正が正しく機能しない場合は、プロジェクターを再調整します。 |
| | <p>[スマートソリューション]: プロジェクターが問題を検出した時の自動アラートのオン/オフを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [投影角度アラート]: 最大投影角度に達した時にアラートを表示します。 • [充電アラート]: バッテリー残量が不足している時にアラートを表示します。 • [手動台形補正の自動起動]: オートフォーカスおよび自動台形補正後に手動台形補正を自動で起動します。 |

3. アプリ

- ① ホーム画面で、[] > [**アプリ**] を選択し、 を押します。
- ② 選択したアプリに対しては、現在のバージョンの確認、アプリの起動、強制停止、使用されているストレージの確認、データまたはキャッシュの消去、アプリのアンインストール、通知と使用許可の有効化または無効化を行うことができます。

4. デバイス設定

ホーム画面で、[] > [**デバイス設定**] を選択し、 を押します。

| | |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [デバイス情報] | 製品情報の確認やシステムの更新、本製品のリセット、本製品の名前変更を行います。 |
| [日付と時刻] | 日付と時刻の自動設定を有効 / 無効にします。日付と時刻を手動で設定するか、タイムゾーンを選択するか、時刻形式を設定します。 |
| [タイマー] | オートパワーオフの設定を変更します。 |
| [言語] | 画面に表示する言語を選択します。 |
| [キーボード] | キーボードを確認および管理します。 |
| [入力] | HDMI を入力ソースとして選択するか、Consumer Electronic Control (CEC) 設定を変更します。 CEC を使用すると、HDMI 機器と Android TV が互いを制御できます。 |
| [電源] | 自動スリープ設定を変更したり、現在のディスプレイをオフにしたり、信号が利用できない時の自動電源オフの時間を設定したりします。 |
| [ストレージ] | デバイスのストレージを確認します。 |
| [ホーム画面] | ホーム画面でチャンネルやアプリを設定したり、オープンソースライセンスを確認したりできます。 |
| [Google アシスタント] | Google アシスタントの設定を変更します。 |
| [Chromecast built-in] | 選択すると、Wi-Fi に接続されているすべての Android 機器に通知が表示され、それらの機器が本製品へのメディアキャストを操作できるようになります。 |
| [スクリーンセーバー] | スクリーンセーバーの設定を変更します。 |
| [位置情報] | アプリが位置を推定できるようにします。 |

| | |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------|
| [使用状況と診断情報] | 機器、アプリ、Chromecast built-in からのクラッシュレポートや使用状況データなどの診断情報を Google に自動的に送信します。 |
| [アクセシビリティ] | キャプション設定の変更や、アクセシビリティサービスの有効化を行います。 |
| [再起動] | システムの再起動またはキャンセルを行います。 |

5. その他


ホーム画面で [] を選択し、その他の設定オプションを表示します。

| | |
|--------------|-------------------------------|
| [アカウントとログイン] | ログインして Android TV を最大限に活用します。 |
| [リモコンとアクセサリ] | ペアリング対象のアクセサリを検索します。 |

製品の使用方法

1. アプリの選択

ワイヤレス (Wi-Fi) 接続を使用すると、オンラインサービスにアクセスしたり、映画、音楽、写真を表示または再生して楽しんだり、オンラインでブラウズできます。Google Play から追加のアプリをダウンロードできます。

- ①  を押してホーム画面にアクセスします。
- ② [アプリ] > [他のアプリを入手] を選択します。

2. 音声アシスタント

設定後、リモコンの Google アシスタントボタンを使って音声で操作することができます。

3. ワイヤレスキャスト


iOS、macOS、Android、または Windows 機器から本製品にムービー、ゲーム、ミュージック、スクリーンをワイヤレスでキャストできます。

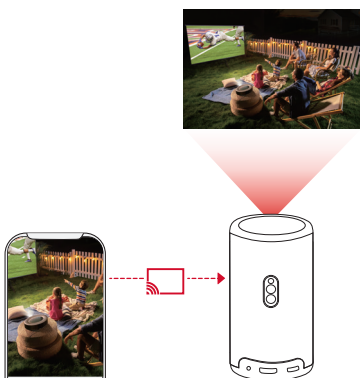


プロジェクターとお客様の機器が同じワイヤレスネットワークに接続されている必要があります。ネットワークは、Wi-Fi もしくはスマートフォンのホットスポットでも構いません。

3.1 アプリ内コンテンツのキャスト

YouTube や Prime Video など、Chromecast に対応するアプリからコンテンツをキャストできます。

- ① デバイスとプロジェクターを同じワイヤレスネットワークに接続します。
- ② デバイスでストリーミングアプリを開きます。
- ③ ビデオを再生し、ビデオ画面でキャストアイコンをタップします。
- ④ **D2426** を選択して接続します。プロジェクターは、デバイスのビデオ画面をミラーリングします。





著作権の制限により、特定のコンテンツは本製品でキャストできません。同じアプリを本製品にインストールしてそのアプリからコンテンツを再生することはできます。


3.2 デバイスの画面のキャスト

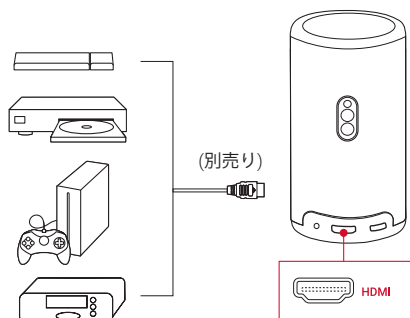
デバイスの画面全体をプロジェクターにキャストできます。

- ① デバイスとプロジェクターを同じワイヤレスネットワークに接続します。
- ② **AirScreen** アプリをプロジェクターにインストールします。
- ③ **AirScreen** アプリを開き、画面の指示に従って操作を完了します。

4. HDMI 再生機器から再生する

本製品は、TV ボックス、TV スティック、DVD プレーヤー、セットトップボックス (STB)、ゲーム機など、さまざまな HDMI 再生機器に接続することができます。

- ① HDMI ケーブル (別売り) を使用して、本製品を HDMI 再生機器に接続します。
- ②  を押して設定メニューにアクセスし、[デバイス設定]>[入力]>[HDMI] を選択します。



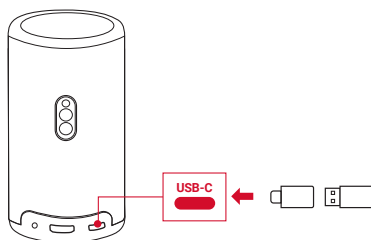


初めて HDMI 再生機器に接続すると、本製品は HDMI 再生を自動的に開始します。

5. USB ドライブから再生する

本製品では、USB 2.0 ドライブに保存されている音楽、ビデオ、画像を再生 / 投影することができます。また、ドライブに保存されているアプリをインストールすることもできます。

- ① Google Play から **File Explorer** アプリをダウンロードします。
- ② USB-A ドライブ (USB コンバーター付き) または USB-C ドライブを USB ポートに挿入します。
- ③ USB ドライブから、再生する音楽、ビデオ、または写真を選択し、 を押します。
- ④ を押すと再生が停止します。



6. 外部オーディオ機器で再生する

本製品は、ヘッドホンやスピーカーなど、外部のオーディオ機器に接続することもできます。外部のオーディオ機器に接続すると、内蔵スピーカーシステムは無効になります。

- ① 3.5 mm オーディオケーブルまたはアダプター (別売り) を使用して、ヘッドホンまたは外部スピーカーを接続します。
- ② ケーブルのもう一方の端を本製品の AUX ポートに接続します。
 - ヘッドオンまたは外部スピーカーからオーディオが聞こえます。






ヘッドホンを接続して装着する前に、耳を痛めないように音量を下げてください。

7. Bluetooth スピーカーモード

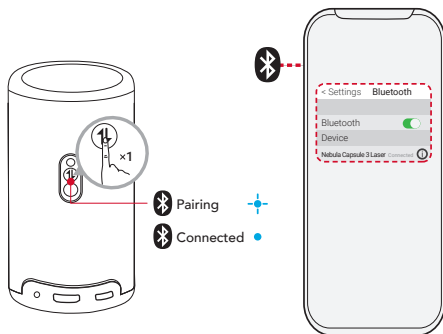
本製品は、Bluetooth スピーカーとしてご使用いただくことができます。



① Bluetooth スピーカーモードに切り替えるには、次の2つの方法があります。

A: プロジェクターの  を押します。

B: ホーム画面で、[] > [Bluetooth スピーカーモード] を選択し、 を押します。

② お使いのスマートフォンの Bluetooth を有効にし、**Nebula Capsule 3 Laser** を選択して接続します。



Bluetooth スピーカーモードを終了するには、プロジェクターの  を押すか、リモコンの  を 2 秒間長押しします。

ファームウェアの更新

本製品の最新の機能をご利用いただくには、必要に応じてファームウェアの更新を行い、システムを最新の状態にさせていただくことをお勧めします。

システムをアップデートするには、[設定]>[デバイス設定]>[バージョン情報]>[システムの更新]に移動します。

製品の仕様


仕様は予告なく変更されることがあります。

| | |
|------------|-------------------------------------------------------|
| 入力 | 5V ≒ 3A / 9V ≒ 3A / 12V ≒ 3A / 15V ≒ 3A / 20V ≒ 2.25A |
| 消費電力 | 45W 未満 |
| スタンバイ時消費電力 | 0.5W 未満 |

| | |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 解像度 | 1920 × 1080 |
| 対応解像度 | 480p (60 Hz)、576p (50 Hz)、720p (30 Hz)、720p (50 Hz)、720p (60 Hz)、1080p (24 Hz)、1080p (30 Hz)、1080p (50 Hz)、1080p (60 Hz)、4K2K (23,976 Hz)、4K2K (25 Hz)、4K2K (30 Hz)、4K2K (50 Hz)、4K2K (60 Hz)、4096 (23,976 Hz)、4096 (25 Hz)、4096 (30 Hz)、4096 (50 Hz)、4096 (60 Hz) |
| コントラスト比 | 500:1 |
| アスペクト比 | 16:9 |
| スクリーンのサイズ | 40 ～ 120 インチ |
| スローレシオ | 1.2:1 |
| 投影距離 | 1.06 ～ 3.18 m |
| 光源 | レーザー |
| フォーカス | 自動 |
| 台形補正 | 自動 |
| スピーカー出力 | 8W |
| 騒音レベル | 28 dB |
| Wi-Fi | 2.4 GHz/5.0 GHz 802.11 a/b/g/n/ac |
| 通信方式 | Bluetooth 5.1 |
| Bluetooth 動作範囲 | 25 m |
| USB メモリのファイルシステム | FAT、FAT32 |

| | |
|--------|--------------------------------------------------|
| 動作温度 | ヨーロッパおよび英国の場合、0°C～25°C その他の国および地域の場合、0°C～35°C |
| リモコン電池 | 単4形乾電池 (x2) |

トラブルシューティング

- ① 電源が入らない場合
 - プロジェクターの充電が切れている可能性があります。プロジェクターを15～30分間充電し、電源ボタンのライトが点灯するかどうかを確認してください。
- ② 充電できない場合
 - 充電には、付属のACアダプタと充電ケーブルを使用します。
 - 付属のACアダプタと充電ケーブルで充電できない場合は、別のアダプタ(30W以上)とUSB-C充電ケーブルをお試しください。
- ③ Wi-Fi ネットワークに接続できない場合
 - プロジェクターをWi-Fi ルーターから5m以内に配置し、再接続します。
 - ルーターを2.4GHzまたは5GHzに設定して、再試行してください。
 - プロジェクターとルーターを再起動して、再試行してください。
 - 別のWi-Fi ネットワークまたはスマートフォンのホットスポットをお試しください。
- ④ 画像がぼやけている場合
 - プロジェクターを少し動かすか、リモコンのを押して、オートフォーカスを起動します。
 - フォーカスを手動で調整するには、[設定]>[プロジェクター設定]>[フォーカス設定]>[マニュアルフォーカス補正]に移動し、リモコンの<および>を使用します。
 - 必要に応じて、投影角度や投映方向、プロジェクターの高さを調整してください。

⑤ 画像が歪む場合

- 次の手順に従って、ファームウェアを最新バージョンに更新してください ([設定]>[デバイス設定]>[バージョン情報]>[システムの更新]>[アップデートの確認])。
- 次の手順に従って、手動で台形補正を行ってください ([設定]>[プロジェクター設定]>[画像補正]>[手動台形補正]をオン>[手動台形補正を起動])。
- 必要に応じて、プロジェクターを左右に動かすか、設置角度を調整してください。

⑥ 「HDMI 信号なし」と表示される場合

- 別の HDMI ケーブルを使用してください。
- プロジェクターを別の HDMI 再生機器に接続し、問題が解決するか確認してください。
- HDMI 再生機器を HDMI ケーブルでテレビに接続し、機器やケーブルに不具合がないか確認してください。
- HDMI 再生機器の出力解像度 / 周波数をプロジェクターと同じになるように調整してください。

⑦ Netflix のインストール方法

- プロジェクターで、Google Play から **Nebula Play** アプリをインストールします。 **Nebula Play** アプリを開き、[ヒント]>[Netflix インストール]を選択します。次に、画面の指示に従って Netflix をインストールします。

⑧ Netflix の操作方法

- お使いのスマートフォンに **Nebula Connect** アプリをインストールし、Capsule 3 Laser に接続します。アプリで「マウスモード」に切り替えます。マウスモードに切り替えると、1本の指で移動またはクリック、2本の指でスクロールができるようになります。

⑨ Wi-Fi なしで動画を再生する方法

- 動画を FAT32 形式で USB ドライブにダウンロードします。次の手順については、「**USB ドライブから再生する**」を参照してください。

注意



本製品は、リサイクルおよび再利用可能な高品質の材料とコンポーネントを使用して、設計および製造されています。



本製品を廃棄する際は、お住まいの自治体のルールに従ってください。



本製品の内蔵バッテリーをお客様ご自身で交換しないでください。爆発の恐れがあります。

ご使用済みの電池は、お住まいの自治体のルールに従って廃棄してください。

RG1 IEC 62471-5:2015

IEC 60825-1:2014 クラス 1 および IEC 62471-5:2015 リスクグループ 1 に準拠しています

リモコン : Nebula RC モデル : D0413X

商標



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Anker Innovations Limited. は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。



HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI licensing LLC の商標または登録商標です。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、Dolby Audio、およびダブル D 記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。

保証

最大 24 ヶ月保証

ご注文日から 18 ヶ月の間 (注)、ご使用いただいている製品に不具合と思われる事象が生じた場合、当該事象を弊社が不具合であると確認した後、同一製品との交換、又は修理対応等当社にて適切と判断する対応をお承り致します。その際の送料は弊社が負担いたします。加えて、Anker Japan 公式サイト会員を対象に、通常 18 ヶ月の製品保証を 24 ヶ月へ自動延長致します。

(注：予約注文を除く。予約注文に限り、発送日から起算させていただきます。)

ただし、在庫切れ、販売終了等、弊社の都合で同一製品との交換、又は修理対応等当社にて適切と判断する対応ができない場合、同等品の後継品に交換させていただくか、もしくは、システム上で製品代金を返金させていただく等の対応となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

なお、お客様過失による不具合の場合は、本保証の対象外とさせていただきます。